

土砂災害ハザードマップについて

長野県が、土砂災害防止法に基づき指定した「土砂災害警戒区域」と「土砂災害特別警戒区域」を、「急傾斜地」と「土石流」に分けて記載しております。

急傾斜地の崩落とは

急な斜面がしみ込んだ雨水や、地震により突然崩れ落ちる現象です。崩れた土砂は斜面の高さの2～3倍にあたる距離まで届くこともあります。がけは山裾だけでなく市街地にもあり、土砂災害のなかでは最も多く発生しています。

こんな前ぶれに注意！

- がけに亀裂が入る。割れ目が見える。
- がけから水が噴き出す。(あるいは止まる)
- 小石がパラパラと落ちてくる。
- 木が傾いたり、倒れたり、木の根が切れる音がするなど。

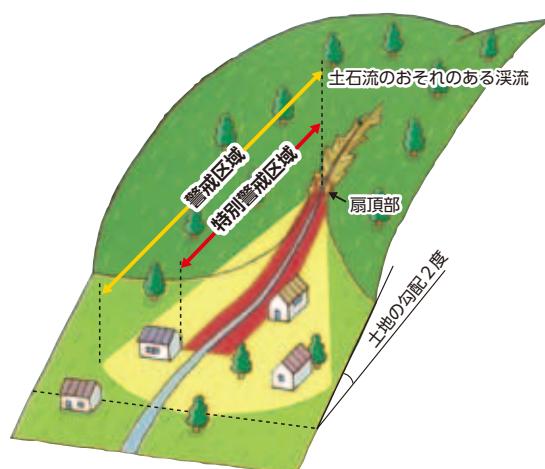


土石流とは

山の斜面から崩れた土や石、谷底にたまっていた砂利や石などが、梅雨や台風の大霖や雪解けなどの水と一緒にになって、一気に流れ出てくる現象をいいます。

こんな前ぶれに注意！

- 山鳴り、地鳴りがする。
- 川が濁ったり、流木が流れる。
- 雨が降り続いているのに、川の水位が下がるなど。



区域の指定

土砂災害警戒区域（通称：イエローゾーン）

■急傾斜地の崩落

- 傾斜度が30度以上で高さが5m以上の区域
- 傾斜度地の上端から水平距離が10m以内の区域
- 傾斜度地の下端から急傾斜地の高さ2倍（50mを超える場合は50m）以内の区域

■土石流

- 土石流の発生のおそれのある渓流において、扇頂部から下流で勾配が2度以上の区域

土砂災害特別警戒区域（通称：レッドゾーン）

土石等の移動等により建築物に作用する力の大きさが、通常の建築物が土石等の移動に対して住民の生命又は身体に著しい危害が生ずるおそれのある損壊を生ずることなく耐えることのできる力の大きさを上回る区域

※特別警戒区域では、建築物の構造規制、特定開発行為に対する許可制、建築物の移転等の勧告及び支援措置がありますので、詳しくは、長野県佐久建設事務所へお問い合わせください。